

グループ全職員のみなさまへ

921台湾大震災に対する 災害医療協力報告(10/7)

本日10月7日朝の時点での台湾で活動中のTDMAT(徳洲会災害医療協力隊)メンバーの活動の報告と今日の予定をいたします。みなさん怪我もなく無事に活動しています。

TDMAT(徳洲会災害医療協力隊)の行動

10月6日の活動報告

第A班：東勢国民小学校避難所診療班

診療者数 114名(内科99、外科15)
(呼吸器80、消化器8、慢性疾患7、外傷20、その他20)

第B班：OFF.....東庚記念医院にて洗濯日

第C班：新盛国民小学校避難所(午前).....石城小学校避難所(午後)診療班

診療者数 新盛 22名(内科20、外科2)
(呼吸器12、消化器4、慢性疾患0、外傷2、その他4)
石城 17名(内科15、外科2)
(呼吸器7、消化器1、慢性疾患2、外傷2、その他5)

第D班：旧814陸軍病院跡地診療班

診療者数 33名(内科12、外科21)
(呼吸器10、消化器2、慢性疾患1、外傷19、その他2)
薬が紛失した、軍が使っているようで補充した

第E班：東勢国民中学ベースキャンプ

【疾患別】今日から疾患別に少しわけてみました。

【influenza vaccine】65歳以上と学童以下は接種を義務づけているようです。その他はそのため。

お知らせ事項

【ベースキャンプの移動完了！】

長庚病院ベースキャンプは元マクドナルドのビルへ移動。人数の関係でここに同居できないTDMATメンバーもベースキャンプを、このビルから徒歩10分ほどの老人福祉施設の3F・4Fに移動しました。40人収容のベット付きでテント生活からいきなり屋根付きドミトリーにグレードアップしました(^o^)

【青木先生の帰国】

10/5に青木先生が一時帰国しTDMAT本部事務局で理事長へ報告。翌10/6「新潮45」の取材を受けました。11月号に掲載予定。。。。

【立法院公聴会出席】

10/5 立法院公聴会に徐先生と清水先生が出席しました。徐先生はその後帰国の途につきます。長い間、隊長ご苦労様でした<(_)>

【撤退時期と班の縮小】

撤退時期は10/16頃と仮決定し、これ以上のメンバーの派遣はしません。 10/9で新盛、石城小学校診療所は撤退し、東勢国民小学校避難所と814陸軍病院跡地避難所の2カ所に絞る事になりました。

【10/8帰国メンバー】

田川、津畑、岩澤、小泉、高山の5名の帰国が10/8に決まりました！！
なお、10/10には清水、栗間、斎藤、亀山、鈴木、萩原、宮島、吉が帰国予定です。

10月7日の各班の行動予定

第A班 東勢国民小学校避難所派遣

小芝 章剛	医師	札幌東
栗岡 宏彰	医師	宇治
津畑 学	医師	鎌倉
松元 陽一	医師(小児科)	岸和田
荻原 省武	薬剤師	福岡
宮島 康彰	看護師	八尾
張 羣	薬剤師	中部
山崎 宏和	看護師	大和
浦里 博史	看護師	神戸

9名

第B班 旧814陸軍病院跡地診療所(仮説住宅)

清水 徹郎	医師	札幌
田川 豊秋	医師	神戸
栗間 孝之	看護師	札幌
小泉 恵子	薬剤師	千葉西
高山 淑衣	検査技師	千葉西
財 紀代	看護婦	鹿児島

6名 その他現地通訳 2名

第C班 休日(林口長庚記念病院へ)

竹内 克彦	医師(内科)	大和
村井 政史	医師	鎌倉
吉 紀三	看護師	名瀬
斉藤 喜博	ME	札幌
近藤 芳憲	看護師	鎌倉
根笹 智江	看護婦	札幌東
倉田 真紀子	看護婦	札幌東

7名 その他現地通訳 2名

第D班 新盛国民小学校避難所 石城国民小学校避難所

阿部 好弘	医師	鹿児島
天野 知徳	医師	宇治
野沢 敏昭	看護師	鎌倉
亀山 賢司	薬剤師	鎌倉

4名 その他現地通訳 2名

第E班 東勢国民中学校ベースキャンプ

劉 孟娟	医師	名瀬
鈴木 論貴	放射線技師	千葉西
渡辺 英樹	ME	鎌倉
岩澤 隆義	ME	千葉西
田原 代志枝	看護婦	千葉西(コーディネート業務)

帰国

徐 嘉英	医師	羽生
------	----	----

再出国(10/7夜台北へ)

青木 重憲	医師	茅ヶ崎
-------	----	-----

東勢ベースキャンプ便り:

さすが食在中國、避難所でも真っ先に中華鍋、コンロが供給され、3食とも手作りの温かい料理です。もちろん中華ではありますが...

骨盤骨折など複数の外傷を負い大腿部にはドレーンが入った患者さんがいました。日本なら入院です。でも頑として応じません。子供を地震で失い、立派な葬式をあげてやりたい...。メンバーは黙々と毎日包交と全身状態のチェックをしに往診しています。災害医療といってもやはり心が大切です。

事務局より:

このファックスをはじめ、電子メール、ホームページへの情報発信、外務省や厚生省、press releaseなどへの広報や折衝、現地メンバーとの連絡、指示、派遣、帰国の手配、所属病院や家族への連絡、そしてマニュアルの作製.....そんなことを、事務局でやっています。鎌倉病院医局秘書の富岡加代子さんが毎日休み無しで事務局の仕事を請け負ってくれています。本当に感謝です<m(__)m>。橋爪慶人先生(岸和田)と中村(宇治)は、所属病院と東京を行ったり着たりですが、災害医療のコーディネータは、医師が関わることが必須ですので、頑張っています。

